



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL https://www.dai-rei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	21,049	△1.5	835	△21.6	845	△21.3	573	△21.6
2018年3月期第3四半期	21,360	1.3	1,065	6.0	1,074	5.8	731	6.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期第3四半期	95.37		—					
2018年3月期第3四半期	121.71		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	11,456	7,462	65.1
2018年3月期	11,294	7,221	63.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 7,462百万円 2018年3月期 7,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	△0.2	1,100	29.9	1,105	28.7	770	32.8	128.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	6,008,300株	2018年3月期	6,008,300株
2019年3月期3Q	27株	2018年3月期	27株
2019年3月期3Q	6,008,273株	2018年3月期3Q	6,008,273株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続しているなか、個人消費も堅調さを保っており、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国やEU諸国の情勢など、世界経済の不確実性は高く、日本経済に与える影響への懸念があり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

国内食品業界におきましては、消費者の多様な価値観の高まりや根強い節約志向への対応が求められ、かつ原材料価格の高騰や人手不足による人件費、物流費の増加など様々なコスト上昇リスクが顕在化する厳しい環境となっております。

このような状況のもと当社は、新商品の販売強化やユーザーへの直接販売に引き続き積極的に取り組むなど、収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、新商品骨取り魚などの拡販に努めましたが、主力商品の原材料高騰などによる販売鈍化により売上高9,012,627千円（前年同期比4.2%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売は好調に推移したものの、匠味シリーズ以外のミート商品の販売鈍化により売上高2,112,096千円（前年同期比4.3%減）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み強化継続により売上高9,924,892千円（前年同期比1.8%増）となりました。これにより当期の売上高は21,049,617千円（前年同期比1.5%減）となりました。

損益面につきましては、原材料高騰による粗利率低下などにより、営業利益は835,709千円（前年同期比21.6%減）、経常利益は845,994千円（前年同期比21.3%減）、四半期純利益は573,010千円（前年同期比21.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、11,456,528千円となり、前事業年度末と比較して162,343千円増加となりました。これは主に現金及び預金が984,931千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が782,252千円、商品が563,860千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、3,994,403千円となり、前事業年度末と比較して78,654千円減少となりました。これは主に未払法人税等が54,605千円増加した一方で、買掛金が168,334千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、7,462,124千円となり、前事業年度末と比較して240,997千円増加となりました。これは主に配当金の支払を330,455千円行った一方で、四半期純利益を573,010千円計上したことにより利益剰余金が242,555千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の将来予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,979,821	1,994,890
受取手形及び売掛金	5,019,964	5,802,216
商品	1,972,903	2,536,764
その他	314,782	171,560
流動資産合計	10,287,472	10,505,431
固定資産		
有形固定資産	673,566	656,687
無形固定資産	102,186	75,253
投資その他の資産		
その他	238,270	226,466
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	230,960	219,156
固定資産合計	1,006,713	951,097
資産合計	11,294,185	11,456,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,072,450	2,904,116
未払法人税等	93,152	147,758
賞与引当金	32,499	29,274
その他	529,867	585,652
流動負債合計	3,727,970	3,666,802
固定負債		
退職給付引当金	221,253	219,903
その他	123,834	107,698
固定負債合計	345,087	327,601
負債合計	4,073,058	3,994,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	4,619,369	4,861,925
自己株式	△47	△47
株主資本合計	7,216,098	7,458,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,028	3,470
評価・換算差額等合計	5,028	3,470
純資産合計	7,221,127	7,462,124
負債純資産合計	11,294,185	11,456,528

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	21,360,813	21,049,617
売上原価	17,786,094	17,767,216
売上総利益	3,574,718	3,282,400
販売費及び一般管理費	2,508,752	2,446,690
営業利益	1,065,966	835,709
営業外収益		
受取賃貸料	6,732	6,732
その他	4,183	5,868
営業外収益合計	10,915	12,600
営業外費用		
賃貸収入原価	1,751	1,741
その他	785	573
営業外費用合計	2,536	2,315
経常利益	1,074,345	845,994
特別損失		
固定資産除却損	1	-
特別損失合計	1	-
税引前四半期純利益	1,074,344	845,994
法人税等	343,056	272,984
四半期純利益	731,287	573,010

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。